

文学部1年生研修 大学でどう勉学するか

—学生生活のスキルアップのために—

授業理解

自己表現

コミュニケーションの技術

専攻領域の理解

応用力の修得

関心の拡大と深化

2010年9月27日(月)
13:30～16:45 1年生全員参加

会場 上智大学12号館および大学周辺

文学部1年生研修プログラム

集合日時 2010年9月27日（月） 13時30分

集合場所

A	哲学科・新聞学科	12-202室
B	史学科・国文学科	12-201室
C	英文学科（1クラス）・ドイツ文学科	12-301室
D	英文学科（2クラス）・フランス文学科	12-302室

プログラム

- A 1限目 橋場義之教授・長町裕司教授
ノート・テイクの方法、自己表現・プレゼンテーションの仕方、的確なレポートの書き方。
- 2限目 「メディアで学ぶ、メディアを学ぶ」（音好宏教授）
大学生に必要な高度情報スキルとは何か、メディアとの向き合い方を知る。
- B 1限目 長尾直茂教授・北條勝貴講師
アカデミック・スキル、特にレポート作成について。
2限目 「紀尾井町周辺文学・史跡探索」（案内者4名程度）
麹町・番町方面、湯島・神田明神方面、紀尾井町界隈、赤坂・九段方面。
(グループ分けは当日発表する)
- C 1限目 増井志津代教授・中井真之助教
大学での効果的学習法、ノートの取り方、レポートの書き方。
2限目 「デューラーの「メランコリア1」をめぐって
—通時的、歴史的な見方—」（高橋明彦教授）
デューラーの1枚の銅版画を歴史的文脈で読み解く作業を通じて、通時的、歴史的なものの見方について学ぶ。
- D 1限目 山本浩教授・小倉博孝教授
大学の授業を実り豊かなものとするための、授業の受け方。
2限目 「外国語・外国文学の意味について」（山本浩教授）
外国語を学ぶことの意味はなにか、外国文学の研究とはどういうことかを知り、学問的な研究対象としての文学作品の見方を学ぶ。